

5月15日

標高
(1,123 m)

城内コース 姫神山に登ったよ!

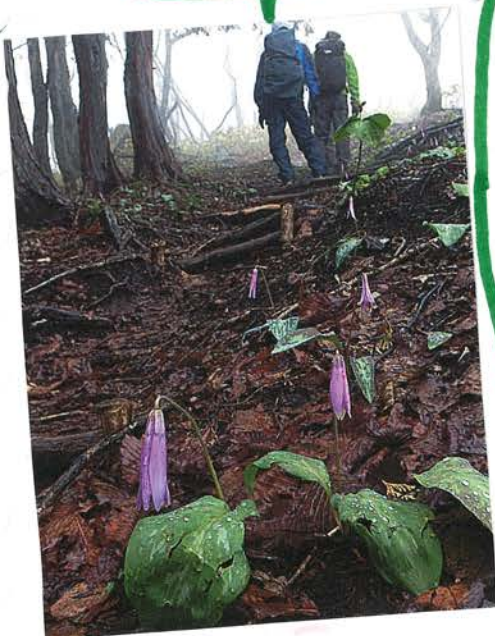
私の実家の牧草地からの景色。
姫神山がよく見えます。



🌞 往復で約3時間。冬の間になまった
体を動かすのに丁度いいお山です ✨

今日は雨降りで気温も
低いので、カタクリさんは
下を向いてお休み
していました。

オオカメノキ
ハチ番平で見えるもの
よりもお花(のびに
見える萼)が倍
くらい大きくて
迫力があります。
木の高さも
3倍くらい高く
育っています。



山頂さむかった〜
写真撮って、そそくさと下山。



今日のコース

〈城内コース〉

古くは山伏の修行の場として使われたコースです。昔の社の跡やお清めの水場が名残として見られます。

コースタイム

- 城内登山口
 - ↓ 20分
 - たたら岩
 - ↓ 15分
 - 清水社
 - ↓ 20分
 - 小姫神
 - ↓ 40分
 - 水石
 - ↓ 10分
 - 笠石
 - ↓ 15分
 - 山頂
 - ↓ 10分
 - 笠石
 - ↓ 5分
 - 水石
 - ↓ 10分
 - 小姫神
 - ↓ 10分
 - 清水社
 - ↓ 5分
 - たたら岩
 - ↓ 7分
 - 城内登山口
- 上り 約2時間
下り 約50分



山頂 1123.5m

笠石 (山頂まで300m)

水石 (山頂まで430m)

小姫神

清水社 (山頂まで500m)



たたら岩

城内登山口 (山頂まで2540m)
P

たたら岩は折重なった岩の様子から、鉄を精製する溶鉱炉の「たたら」(ものけね)に登場するアレ!)に似ていることから名前が付けました。

城内登山口は標高550m 乗用車10台分ほどの駐車場があります。お手洗いは簡易トイレです。

姫神山のれきし

姫神山は火山ではなく、花崗岩の地層が地殻変動で盛り上がった丘です。「姫神山」という名前は坂上田村麻呂が東征の折、この地に立烏帽子神女という姫神(女性の神様)を祀ったことが始まりと言われています。姫神山近くの岩洞湖周辺では、小石川遺跡という旧石器時代(1万1千年前)の遺跡も見られ、奥州藤原氏が栄華をきわめた時代には、黄金と良質な馬の産地として盛えました。現在は採掘されていませんが、各地に金山の跡が残っています。

8合目~9合目のカタクリ

カタクリの名前の由来

カタクリは古い昔は堅香子(かたかご)と呼ばれていました。花の形が傾いた籠のような形をしていることからそう呼ばれていたようです。また片栗という名前はカタクリの葉の形と栗の子葉の形が似ていることから付けられたと言われています。

別の説では、花が百合の花に似ていることから、堅香子(かたかご)がカタカゴヤリ → カタコヤリ → カタクリと変わっていったとも言われています。



5月15日

今日咲いていたお花

ミヤマカンスゲ

登山口は春、山頂は早春。
種類は多くありませんが、
お花が咲きはじめました。



▲ツバクモト

▼ミヤマアズマギク
のつぼみ



▲ヒトリシズカ



▲ヒメイチゲ



▼ユメツリジ

ミネヤナギ



▼シラネアオイ



アカフタチツボスミレ
葉脈が赤い
線になっている
のが特徴です。

▲アケボノスミレ



スミレのおはなし

日本には
60種、品種では220品種
あるよ!

スミレは地球上に23属800種が確認されています。
かわいらしい草のイメージがありますが、実はスミレの中間の
大半は木キの姿をしています!! スミレのご先祖様はアンデス山脈で
誕生しました。北半球に進出するために背の低い姿になり、
だんだんにより寒さに耐えられる草の姿になったと考えられています。
ちなみに「スミレ」の語源は「墨入れ」。お花のスミを、墨壺スミに見たてて
名付けられました。